

2024年秋季年末闘争ニュース

No.24-13 2024年11月1日
発行:目黒地区労働組合協議会/教宣部
【HP】<http://meguro-rokyo.jp/>
メール:union@r05.itscom.net



10月1日から、東京最低賃金1163円に

2024年8月5日、東京地方最低賃金審議会（以下「審議会」と略）は、東京都最低賃金の50円（4.49%）引き上げを答申しました。これに「全国最低の引き上げ額・引き上げ率は不十分」と、目黒労協も含む各労組・個人などから168件もの「異議」が提出されましたが、8月21日の審議会で、答申通り10月1日からの引き上げが決定されました。

10月1日さっそく中目黒駅で宣伝行動

目黒労協は10月1日、東京最賃1163円の宣伝行動を実施。まずは自分の時給をチェックしよう！時給・賃金の引き上げを求めよう！さらなる最賃上げが必要！と訴えました。



11名で192組のビラ入りテッシュウを配布しました。
*配布したビラ→

2024年10月1日(火)から
東京都最低賃金は
時給 **1,163**円

安すぎです 消費増税30% 34円増しの上昇なので
実質賃金マイナス 低すぎです
足りません 1人1日1万円必要 16万円必要(1年223万円)

「自分の時給を調べよ」
最新賃金が上がると 人に1人の時給が伸びます。
東京や神奈川など最低賃金アップの地域は2023年の引き上げによる増賃率は23.4%にも及びます。

最低賃金の大幅引き上げは
ひとごとではありません

「1,500円以上は必要です」
東京での生活にかかる費用を軽減したなら
週給15万円必要額

北沢	1,664円
青田地区	1,730円
立川駅	1,750円

さらに私たちは世界の常識
時給 **2,000**円推しです

東京春闘共闘会議・東京地評 (東京地方労働組合評議会)

宣伝行動参加者から
自分の感覚としては、かなり受け取りが良かったが、結果を見るとあまりはけていない。いつもの「最賃上げよう」の訴えに対し、「最賃額上がった！」の方が、受け止められたのか。「最賃ポスター」の効果も、「知っている」と反応する通行人も少なからず。

東京都は全国一低額・低率引き上げ

最低賃金は中央最低賃金審議会が引上げ「目安」を8月に答申。今年は全国50円引上げが「目安」。そして各県の審議会が審議し、県ごとに労働局長が決定します。2024年は、半数以上の県が目安額に上乗せ。徳島県では、県知事が審議会に強く働きかけ、34円上乗せし84円（9.4%）引き上げました。しかし東京は「目安」通り50円（4.5%）。東京は物価上昇も、春闘賃上げ水準も高いのに全国最低の引上げ額、引上げ率です。

***東京都最賃をもっと引き上げろ！**

51円	全国加重平均
84円	徳島
59円	岩手、愛媛
58円	島根
57円	鳥取
56円	佐賀、鹿児島、沖縄
55円	青森、山形、福島、高知、長崎、大分、宮崎
54円	秋田、新潟、熊本
53円	福井
52円	茨城、香川
51円	石川、岐阜、兵庫、和歌山、山口、福岡
50円	他、東京など20都道府県

東京都は12年連続「目安」通り。都審議会は何を審議しているの？

12年連続して中央の「目安」通りの引上げ。東京の最賃引上げは不十分です。

■過去12年の最低賃金引上げ率

年	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	平均
全国	3.66%	2.09	2.31	3.13	3.04	3.07	3.09	0.11	3.10	3.33	4.5%	5.1%	3.81%
Aランク	3.98	2.27	2.34	2.86	2.22	2.93	2.96	0.10	2.87	3.09	4.2%	?	
東京	2.24	2.19	2.14	2.76	2.79	2.82	2.84	0.00	2.76	2.96	3.8%	4.5%	2.89%

最低賃金が千円を超えたといわれる時に使われるのが「全国加重平均」。各県の労働者数を勘案して平均を決めるのですが、この労働者数が、最も最賃が高い東京と神奈川で4分の1を占めます。

東京・神奈川を抑え込めば、全国最賃も抑え込める。東京最賃の引上げ率は過去12年で、全国平均の4分の3に抑え込まれています。目黒労協は、東京最賃審議会に「意見書」「異議」を提出し、東京の全国平均以上の物価や地価（住居費）上昇などを指摘し、引上げを求めています。最賃全国一律1500円へ向けて、現状の最賃制度での、東京最賃の抑え込みを突破する取組みをめざしましょう。

密室審議の東京最賃公開度UPが必要です！

※2024年の状況、中央審議会といち早く中賃目安+4円答申した新潟県とも比較します。

右に見るように、東京の最賃審議会は中央最賃審議会に比べても公開度が低く、傍聴者も制限。全国的には多くの県で、最賃で働く労働者や、副知事なども「意見陳述」しています。また公開度の低い県が「目安通り」で最賃が抑えられている傾向にあります。

	中央審議会	東京都	新潟県
審議会公示	事前にHP公示	掲示板掲示でHP公示は直前	事前にHP公示
傍聴者数	数十名	4~6人(多数落選者あり)	7/30:18名、8/5:26名
審議会資料	開会時HPにUP	情報公開請求→2週間後開示	即日HPにUP
議事要旨	要旨なし	専門部会一月後議事要旨発表	議事要旨4日後HPにUP
意見陳述	なし	なし	7/30:5人
専門部会公示	前回終了後すぐ	最初の1回のみ	
専門部会回数	5回	5回	4回
専門部会傍聴	3者会議のみ公開 毎回十数名	1回目2名(多数落選) 2回 ~5回非公開	7/30:11名、7/31:12名 8/1:13名、8/5:7名
専門部会資料	開会時にHPにUP	なし(*情報公開請求中)	即日HPにUP

春闘で4月に上がるよりも、秋の最賃引上げで賃金が上がる労働者の方が多く、東京では4分の1以上が最賃近傍労働者。100万人以上の賃金交渉です。情報公開などに引き続き取り組みます。公開度・透明性を上げ、労働者みんなが意見を表明し、参加する最賃改定を実現しよう。(目黒労協/事務局)

戦争反対！地域から平和を求めて

9条宣伝行動、学芸大学駅で

毎月9日に「平和を！」と宣伝行動を行っています。10月は、毎月多数参加の東京土建目黒支部に加え、目黒区職員組合および東京自治労連の方々も多数参加。その他にもJMITU目黒地域支部・めぐろユニオン、平和委員会など。多彩な22人で宣伝・署名行動を夕方の約1時間行いました。(めぐろユニオン/通信員)



次々と加盟組合などの定期大会が続く秋

JMITU 目黒地域支部、第71回定期大会開催

9月30日(月)、支部事務所にて2024年の支部定期大会が行われた。来賓に南部地協事務局長の有馬さんに来ていただいた。高齢者をくすぐり、元気を鼓舞するあいさつに、大いに励まされた。

さて、ダイヤ分会が解散してから支部には、要求する経営先がない(年金者組合員だけな)ので、コブシを上げる気勢も何となく、迫力がないといった状態か。議案書は討議してきちんと作った。だから当日は承認だけになる。産別の形を取らなければ、産別の労働組合ではなくなってしまふ。ここらあたりの意識を堅持するのは、かなりしんどい。組合員の高齢化が意識を薄めていく。自然と満身創痍になっていく。しかし、それでも“種火”くらいはあるか。ワクに嵌まった大会は短時間で終わった。今年もじっくり地道に歩むしかない・・・か。(目黒地域支部/委員長)



全日本年金者組合目黒支部は第36回定期大会

ひとり一人の組合員がつながりを豊かにし、励ましあえる場づくりを



10月5日(土)の八雲住区センターにて、全日本年金者組合目黒支部の第36回定期大会が行われ、目黒労協加盟組合ではありませんが参加してきました。年金者組合はその規約で、「この組合の目的は、年金、医療、介護、福祉など社会保障制度の確立、年金生活者と高齢者の生活と権利の維持・向上です」と、うたっています。正式な労働組合とは一線を画しますが、区内の年金生活者を100名以上組織し、年金や平和での集会参加はもちろん、料理教室やハイキング、写真サークルなど、活発に交流を行っています。年金支給日には、駅前で行う年金問題の宣伝行動も行なうなど、大変お元気な「元・はたらく仲間たち」です。年金支給が始まったら、みなさんも顔を出してはいかがでしょうか。(目黒労協/事務局)

この後も10/26パスコ労組、11/23国民救援会目黒、11/28目黒区職労など

各労組大会報告を今後も紹介・掲載していきます。写真や原稿をぜひお寄せください。(目黒労協/教宣部)

争議支援続けています：10.24金属反合共同行動

六本木ヒルズ/キンドリルジャパン本社

10月24日(木)金属反合一争議支援行動。朝は9:30から、六本木ヒルズキンドリル JAPAN。日本IBMから分社化され、六本木ヒルズに入っています。インフラなど基本的なITを支える仕事。「JALの搭乗システムもキンドリル」と、JAL争議団から紹介されました。60歳以上の定年後再雇用で、IBM時代の月17万円から、キンドリルになって月25万円まで勝ち取ってきましたが、ボーナスはなし。年収300万に過ぎず、現役時代からみれば半分以下、3割の水準とのことです。東京地裁で裁判が続いています。次回は2月6日です。挨拶はJMITU 通信産業本部からNTTの状況、JAL争議団は最終フライトを終え、65歳定年となったパイロットから。そして当該IBM労組委員長からも訴えがありました。



晴海/ノバ・バイオメディカル IBM ビル

「金属反合」の二番目は晴海トリトンタワーの、ノバ・バイオメディカル争議。営業マンだった労組委員長を、福岡から東京への配転強要。本人の意思を無視した倉庫への配転と、格下げに伴う賃金3割以上減額で、都労委・裁判で闘っています。ここに来て、会社側が形勢不利とみて「和解」を提案してきましたが、中身は「賃下げは取り消す」というだけで、不当配転・降格などは改める気がない。「今後も闘い続ける」と、当該委員長から決意表明がありました。

箱崎/日本 IBM 本社ビル

「金属反合」の最後は、箱崎の日本IBM本社前集会。支援のJMITU 日本ロールから、「自社では、定年後再雇用賃金は90パーセントで、2年目以降に漸減となるが、ボーナスは定年前と同率。有給の持ち越しもあるが、協約化に6年かかった」と、IBMと比較しながら、定年後再雇用の労働条件を勝ち取ってきた経過の報告がありました。JMITU 目黒地域支部・三菱自動車支部・めぐろユニオンなど、目黒からも支援参加がありました。(以上、目黒労協/事務局)



地域共闘を拡げ 目黒労協を大きくしよう！
活動方針の討議・決定

目黒労協 第73回定期大会

- ◆11月16日(土) 土建目黒会館/午後 1時開会
- ◆代議員の確保をお願いします、大会の成功を！